



品種例
・えらぶ
・太みどり など

ニガウリ

栽培のポイント

① 連作を避けましょう

ウリ科の野菜は、連作すると「つる割れ病」にかかりやすくなります。連作していない畑で栽培するか、カボチャの台木に接ぎ木して栽培しましょう。市販の苗は、接ぎ木苗を購入するとよいでしょう。

② 発芽のためにひと工夫

種皮は硬くて厚いので、種の先端をペンチで少しカットし、水に一晩浸けておくと発芽しやすくなります。

③ 果実を増やすために摘芯を

あまり手をかけなくても十分に育ちますが、摘芯をすればより多くの果実をつけることができます。親づるが本葉6枚の頃に先端を手で摘み取り、その後出てくる子づるに実をつけましょう。

栽培カレンダー



●種まき ○植えつけ △ホットキャップ被覆 ■収穫

1 苗づくり

種子の一部に傷をつけて一昼夜吸水させる



低温に弱く、幼苗時の生育がきわめて遅いのでできるだけ保加温して育苗する

寒いときはこの上に「こも」をかける



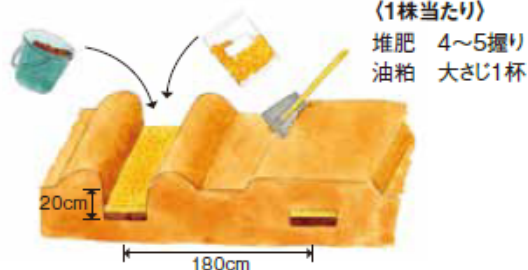
苗床は夜温25~28℃を保つように電熱加温する

3号のポリ鉢に3~4粒ずつ種をまく。覆土の厚さは1cmくらい



本葉1枚のころ間引いて2本立てに、本葉2枚のころ1本立てにし、本葉3~4枚の苗に仕上げて畑に植える

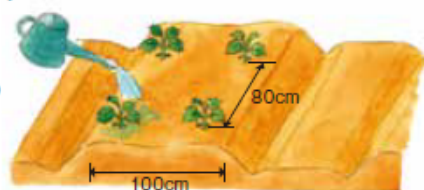
2 元肥・畑の準備



(1株当たり)
堆肥 4~5握り
油粕 大さじ1杯

3 植えつけ

植えつけた後、株のまわりに灌水する



4 支柱立て・誘引

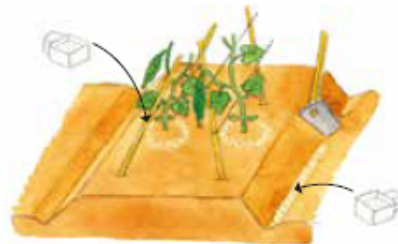
つるは巻きひげを伸ばしてよくからみつくので、初期に1~2回縛り、あとはおおまかに方向を決めて配置するだけでよい。フェンス等を利用してからませてもよい



5 追肥

第1回
親づるが50cm以上に伸びたころ化成肥料を株のまわりに少量施す

第2回以降
収穫盛りに入ったころ、化成肥料を2~3回通路側に施す。いずれも1株当たり大さじ1杯



6 収穫と利用



緑色種は果実が緑になり、白色種は表面のこぶが十分膨らんできたら収穫する



果梗(果実を支える枝の部分)は細いが硬いので、はさみで切り取る



半分に切り、種子を取り出してから薄切り。ゴーヤーチャンプルや天ぷら、そのままか漬けなどに

酢みそ和えなどにする場合は水にさらしてよくもみ、水けを絞ってから利用する